

内閣府

宇宙利用拡大の調査研究

平成28年度概算要求額 400百万円(302百万円)

内閣府
宇宙戦略室

事業概要・目的・必要性

宇宙基本法に基づき策定された「宇宙基本計画」(平成27年1月 宇宙開発戦略本部決定)において、我が国の宇宙政策の目標として、「宇宙安全保障の確保」、「民生分野における宇宙利用の推進」、及び「宇宙産業及び科学技術基盤の維持・強化」が掲げられました。

平成27年7月の宇宙開発戦略本部に報告された「宇宙政策委員会 中間とりまとめ」において、宇宙基本計画の着実な実施が求められるとともに、施策内容の更なる充実・具体化を強く求めるとする19の重点検討項目が示されました。

この19の重点検討項目のうち、内閣府を中心となって取り組むべき宇宙利用を拡大するために重要な項目について、具体的検討を進めるため、

- (1) 宇宙安全保障の確保に関する調査
 - (2) 民生分野の宇宙利用の推進に関する調査
 - (3) 宇宙産業及び科学技術基盤の維持・強化に関する調査を行います。
- (具体的な内容については右欄参照。)

資金の流れ



事業イメージ・具体例

(1) 宇宙安全保障の確保に関する調査

宇宙空間の安定的利用の確保、宇宙の安全保障分野における活用の強化、宇宙協力を通じた日米同盟等の強化を図る観点から、我が国等が保有する宇宙システム全体の抗たん性強化に関する調査や 即応型小型衛星等に係る運用上のニーズや運用構想等について調査を行います。

(2) 民生分野における宇宙利用の推進に関する調査

宇宙を活用した地球規模課題の解決と安全・安心で豊かな社会の実現、関連する新産業の創出を図る観点から、宇宙に関連した新産業・新サービスの創出等について調査を行います。

(3) 宇宙産業及び科学技術の基盤の維持・強化に関する調査

宇宙産業関連基盤の維持・強化、価値を実現する科学技術基盤の維持強化を図る観点から、宇宙産業の国内関連基盤の維持・強化に関する調査や 宇宙システムの海外展開に関する調査を行います。

期待される効果

宇宙安全保障の確保
民生分野における宇宙利用の推進
宇宙産業及び科学技術基盤の維持・強化等

(1) 宇宙安全保障の確保に関する調査(宇宙システム全体の抗たん性強化に関する調査)

事業概要・目的

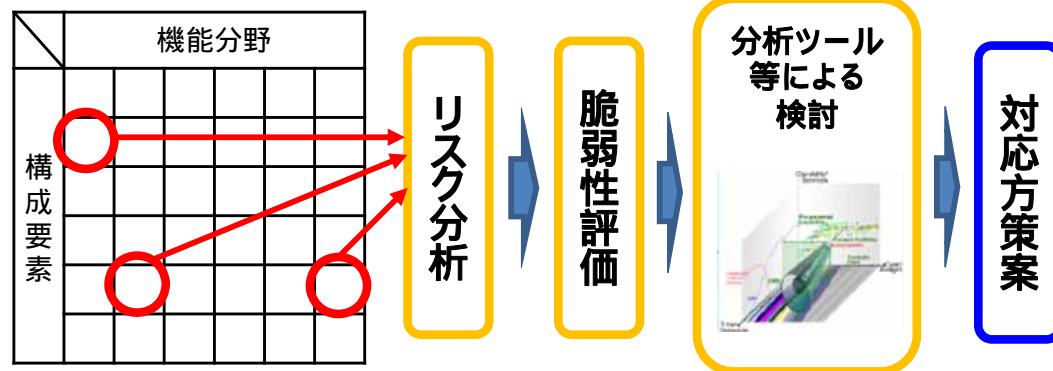
「宇宙基本計画」(平成27年1月宇宙開発戦略本部決定)における我が国の宇宙政策の目標の一つとして「宇宙安全保障」が掲げられました。

平成27年7月の宇宙開発戦略本部に報告された「宇宙政策委員会 中間取りまとめ」において、施策内容の更なる充実・具体化を強く求めるとする19の重点検討項目の一つとして、「宇宙システム全体の抗たん性強化」が掲げられ、「平成28年度から対応方策の検討等に取り組む」とされています。

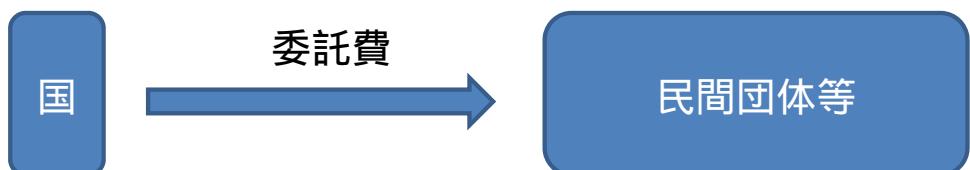
本調査においては、我が国及び米国等が保有する宇宙システムの抗たん性に係る包括的かつ具体的な対応方策の検討等を行います。

事業イメージ・具体例

我が国及び米国等が保有する宇宙システムのうち、衛星測位、衛星リモートセンシング、衛星通信・衛星放送、早期警戒機能等、宇宙輸送システム、宇宙状況把握、の6つの機能分野の宇宙システムについて、宇宙システムを実現している、衛星、地上施設、利用者側装置、通信リンク、宇宙輸送システム、サプライチェーン、の6つの構成要素を考慮し、上記の機能分野及び構成要素ごとのリスク分析、脆弱性評価を行った上で、分析ツール等を活用した効果的な対応方策案等の検討を行います。



資金の流れ



期待される効果

宇宙空間の安定的利用の確保
宇宙の安全保障分野における活用の強化
宇宙協力を通じた日米同盟等の強化

(1) 宇宙安全保障の確保に関する調査(即応型の小型衛星等に関する調査)

事業概要・目的

「宇宙基本計画」(平成27年1月宇宙開発戦略本部決定)における我が国の宇宙政策の目標の一つとして「宇宙安全保障」が掲げられました。

平成27年7月の宇宙開発戦略本部に報告された「宇宙政策委員会 中間取りまとめ」において、施策内容の更なる充実・具体化を強く求めるとする19の重点検討項目の一つとして、「即応型の小型衛星等」が掲げられ、

「即応型の小型衛星に係る最新の技術動向、利用動向を踏まえ、即応度ごとの実現手法及びそのために必要な施設やコスト、運用上の課題について整理するための調査研究を平成27年度に行い、平成28年度に、性能・コストの両面から実現し得る即応性を備えた小型衛星等に係る運用上のニーズや運用構想等について検討を行う」とされています。

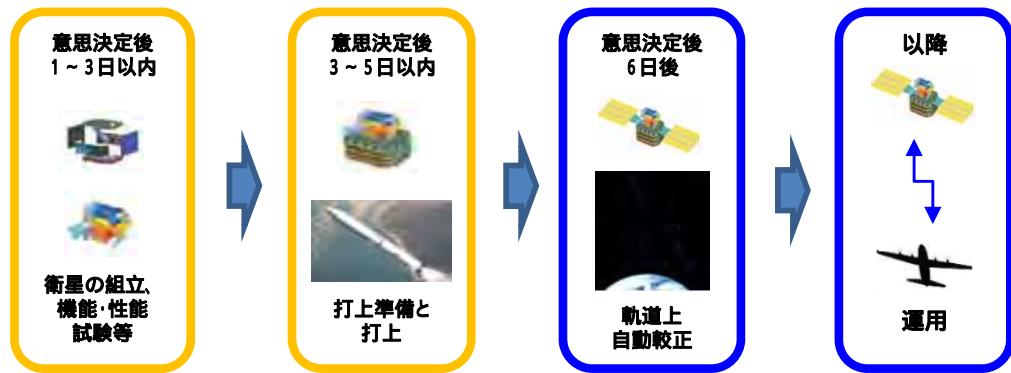
本調査においては、即応型の小型衛星等に係る運用上のニーズや運用構想等について検討を行います。

事業イメージ・具体例

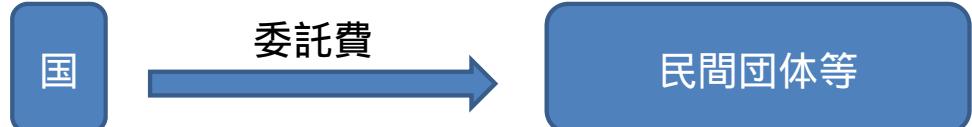
近年、即応型の小型衛星等及び同打ち上げシステムに係る技術は急速に進展しています。

大型衛星は、必要な地域上空のみを頻繁に通過することはできず、また、機能を失った場合の影響が大きいのに対し、即応型の小型衛星等は、必要な地域上空に絞った運用や、大型衛星の代替、更に、リスクが顕在化した場合の影響を局限できる可能性がある。

平成28年度は、我が国に必要な即応型の小型衛星等の利活用を遅滞なく推進するため、我が国における即応型の小型衛星等の運用ニーズ、性能・コストの両面から、実現可能な運用構想等について検討を行います。



資金の流れ



期待される効果

宇宙空間の安定的利用の確保
宇宙の安全保障分野における活用の強化
宇宙協力を通じた日米同盟等の強化